

IT強震計とは

目的

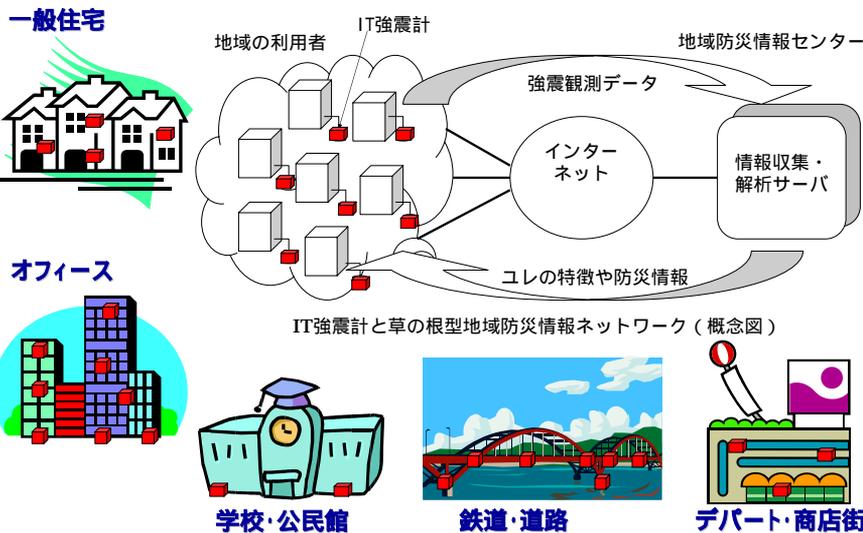
大地震による災害を軽減する為には、小さな地震のときに私たちの住宅や会社、学校など、身近な場所の揺れを調べてその弱点を探り、効果的な耐震対策をすることが有効と考えられます。

IT強震計は、このような目的で利用者自身が設置して利用する新しいタイプの強震計として考案されました。

IT強震計は、近年、安価な加速度センサーが市販されるようになってきたこと、また、ADSLや光ファイバーなどのブロードバンド回線が急速に普及したことから実現可能となったものです。

IT強震計の利用

実際のユレの情報を知り
効果的な耐震対策をしよう！



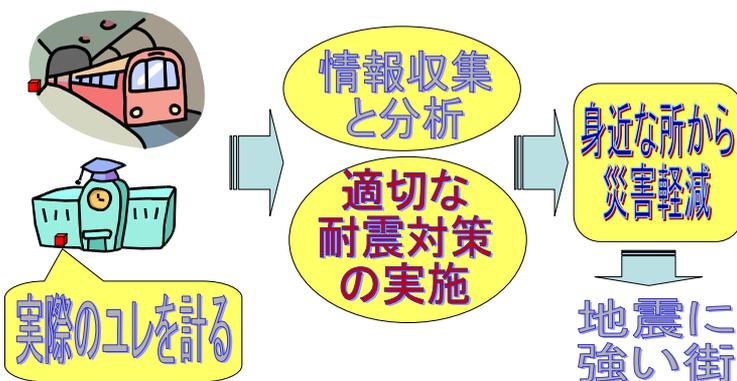
利用者は、地域の企業や一般住民などを想定

IT強震計で観測されたユレの情報は、インターネット経由で、地域の防災情報センターにリアルタイムで情報提供されます。センターでは多数の観測点から収集した情報をもとに、周辺のユレの情報を求めて設置場所のユレの特徴や防災情報を利用者に送り返します。

この仕組みにより、建物などの弱点を探って効果的な耐震対策を可能にしようという訳です。

震災軽減のために

まず測定して問題を見つけることから始めよう！



IT強震計研究会

2006.6.17 耐震補強フォーラム

IT強震計の開発状況

東大地震研 他

単体型IT強震計の試作(縦横23cm)

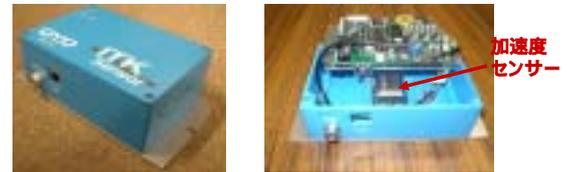


2004.10.発表

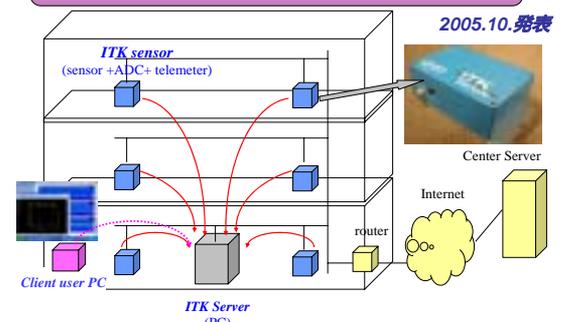
量産モデルの開発

価格 20万程度
10万以下 公共施設への展開可能
一般住宅への展開可能(目標!)

IT強震センサーの試作 (LAN接続型強震計)



建物用IT強震計システムの試作



IT強震計のその他の特徴 (一部予定)

(1) 地域の防災センターとの連携機能

IT強震計は、地域の防災情報センターと常に情報交換をしていますので、センターを経由して地域の揺れの情報をフィードバックできます。

(2) 日常的な防災情報の提供機能

全国の地震の情報や津波注意報、警報などをセンター経由で迅速に入手できます。利用者は自分のパソコンからIT強震計にアクセスするだけで、自分の観測したデータだけでなく、最新の防災情報が入手可能です。

(3) 大地震の際には、...

IT強震計の高密度なネットワークを利用して強い揺れの地域をいち早く把握したり、学校や病院などの被災状況の推定などにも利用可能です。

(4) 様々な場所に設置可能

GPS時計でなくNTPで時刻校正していますので、LANと電源さえあれば地下など様々な場所に設置が可能です。

地域の防災情報ネットワークの標準ツール(目標)